

昨年起業したシデカス

介護現場の実用服販売

寝たまま腕上げず着替え可能

16年春に脱サラで起業、要介護者向け衣料などの販売を手掛けているのがシデカス（兵庫県加古川市、奇玉昌宏代表、電話0790・52748・6213）。



奇玉代表と「ユニオルク」

ベッドに寝たまま、腕を上げることなく着替え可能な「ユニオルク」を開発し、オンラインショップや、ケアマネージャー、訪問介護施設などへの販売を始めた。締め付けない五本指靴下など、関連商品も増やしている。

ユニオルクはシートのような一枚構造で、体の下に敷いてから包むように着る形を考案した。縫い目の凹凸を極力減らし、播州織をはじめとする国産

の生地、縫製にこだわった。着脱しやすいようファスナーは使っていない。落ち着いたグレートからカラフルな色合いのものまで無地、先染め14色を揃え、価格は5800円。

奇玉代表は母親がホームヘルパーをしていたことから、介護する人、される人双方の負担が少ない着脱容易なウェアを発売案。起業家が多数集まる加古川産業会館内のインキューベーションオフィスに入居して会社をス

タートした。ただ、衣料関係のノウハウはゼロに近かった。素材や縫製工場探し、企画、販売面の課題を一つずつクリアし、昨年末に事業の形が整ったため、情報発信を強化し始めた。

営業を進めるなかで、「五本指靴下を愛用しているが、締め付け感や着脱が煩雑」という声が聞かえてきた。すぐに履き口にゴムを使わず、片手でも簡単に履ける五本指靴下を開発した。価格は滑り止め付きで1680円。また、ユニオルクは構造上、袖が無く腕が寒いため、アームウォーマーも揃えた。

ユニオルクは自社企画の商品が中心だが、アームウォーマーは地元の靴下メーカーの製品をそのまま仕入れる。「介護関連施設などへのセット販売、百貨店の催事などもこれから進めていきたい」考え。「多品種少量しかできない分、介護現場の細かいニーズに対応できる点を強みにしていく」という。